

第20号(1)

(通巻第64号)

平成26年10月

特別支援教育 ほっかいどう

Journal of Special Needs Education in HOKKAIDO

A green silhouette map of Hokkaido is centered on the page. The text '特集' is written in yellow over the map.

特集

特別な教育的ニーズのある子どもの
社会参加・貢献を目指して

北海道立特別支援教育センター

特別支援教育ほっかいどう (通刊第64号)

特 集

特別な教育的ニーズのある子どもの 社会参加・貢献を目指して

巻頭言

「共生社会」の実現に向けて・・・「貢献」するとは
北海道立特別支援教育センター所長 木 村 宣 孝 …1

実践1

幼児一人一人の教育的ニーズを踏まえた多様な学びの場
学校法人旭川宝田学園 わかば幼稚園長 佐 藤 公 文 …2

実践2

白糠町における特別な教育的ニーズのある子どもの社会参加・貢献を目指した取組 ～町が一体となった特別支援教育の取組～
白糠町教育委員会 指導室長 川 島 眞 澄 …7

実践3

長沼町立長沼中学校における特別支援学級の職場体験
～地域の中でたくましく生活する子どもの育成を目指して～
長沼町立長沼中学校 教諭 三 浦 智 恵 …11

北海道立特別支援教育センター研究報告

研究紀要ダイジェスト
「発達障害のある心理的な支援が必要な児童生徒の理解と指導・支援の在り方に関する研究」
…17

北海道立特別支援教育センターからのお知らせ

冬季講座と公開講義のご案内 …19



平成24年7月の「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）」に次の事項が示されました。

「『共生社会』とは、これまで必ずしも十分に社会参加できるような環境になかった障害者等が、積極的に参加・貢献していくことのできる社会である。」

また、本年1月、我が国は「障害者の権利に関する条約」に批准し締結国となりましたが、本条約の第24条に「『インクルーシブ教育システム』とは、人間の多様性の尊重等の強化、障害者が精神的及び身体的な能力を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするとの目的の下」構築する仕組みであることが述べられています。

これまで「社会参加・自立を目指す」と言われてきたこの教育において、「貢献」というキーワードが示されたことは、大変意義深く注目すべき理念であると考えます。「貢献」とは、他者との、または、社会との「関係性」において意義付けられる社会的価値概念だからです。

「貢献」の辞書的な意味として「物事や社会に力を尽くして、よい結果をもたらすこと。（新辞林）」があります。「貢献」には、非常に幅の広い意味が内包されます。先の意味に「力を尽くして」とありますが、児童生徒が日々の学習に精一杯取り組み、困難があってもそのもてる力を最大限発揮する姿を実現する特別支援教育の充実が、社会の多くの人々への共感と感動をもたらし、多様な人々を包括する「共生社会」の実現に「貢献」するのです。

また、「キャリア発達を促す教育」の視点から、児童生徒は（学校卒業後も含め）その能力・特性に応じて様々な役割（ライフロール）を果たす可能性を秘めており、その役割を通じて社会に貢献することができます。ここでいう役割（ライフロール）とは、D.E. スーパーによれば、「子ども」「学生」「余暇人」「労働者」「市民」「家庭人」など多様な役割を指しています。特別支援教育は、その可能性を最大限に「開発」する役割をもつ教育であると言えます。

「貢献」のやや狭義な意味としては、今日、我が国全体において職業的な自立の推進及び障がいのある人々の雇用施策が強化されていますが、言うまでもなく「職業」を通じて社会に貢献することは極めて大切なことであります。その就労形態も、個に応じて今後ますます多様化していくことが期待されています。

私は、現在の特別支援学校高等部学習指導要領の新教科「福祉」の創設に携わりましたが、その改定作業ワーキンググループの検討経過の中で、「特別支援学校を卒業する生徒たちは、必要に応じて福祉サービスの利用者でもあるが、その彼らが社会の中で福祉サービスに関する職業に就くこと、または福祉サービスを提供する仕事について学ぶことは、彼らの社会的存在価値を高め、大変意義のあることである。」という見解が生まれ、多くの方々の支持を得ていったことを思い出します。今日、「知識基盤社会」の時代と言われますが、すべての人々が社会の様々な仕組みの中で相互に役割を担い合えるようになっていくプロセスは、まさに「共生社会」の形成過程そのものであり、今後もこのような「パラダイムシフト」がますます活発になっていくことが期待されているのです。

このため、このような「知の開発・創造」とその実現に向けての動きは、特別支援教育に携わるすべての人々のテーマであり、この動きは彼らを生涯支える企業や福祉等の関係者の願い、アイディアとともに生み出していくことが重要であると考え、本年度の「特集テーマ」として取り上げました。

各学校、各関係機関、各地域の皆様のご協力の下、年間3回に分けての発行を目指しています。

是非ご覧いただき、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。

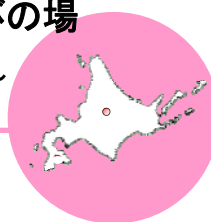


幼児一人一人の教育的ニーズを踏まえた多様な学びの場

～子ども、保護者、教師が生き生きできる幼稚園～

学校法人旭川宝田学園わかば幼稚園

園長 佐藤 公文



1 はじめに

わかば幼稚園は昭和51年に開園し、来年開園40年を迎えます。卒園児は2,778名を数えます。

40年の歴史の中で、特別支援教育に関わったのは25年くらい前です。初めて受け入れた子どもは、今ならば自閉症スペクトラムやアスペルガー症候群といわれると思われる子どもです。受け入れた当時は、通園センターなど特別な教育的支援を必要とする子どものための施設もなく、相談できる場所は児童相談所くらいでした。幼稚園としても、特別な教育的支援を必要とする子どもへの指導はどうするのかということも、ほとんど決まっていなかった状況です。その後も、特別な教育的支援を必要とする子どもたちが少しずつ入園してきました。

それから25年、教師みんなで、わかば幼稚園の教育を少しずつ見直していき、子どもの年齢、成長、興味・関心に寄り添うような幼稚園に変わっていきました。その中で、幼稚園の一日の流れ、保育内容、保育室の環境設定等を「子ども一人一人が遊びやすく、やりたいことができる場所」「自分の家のように安心できる場所」へと変えていきました。

わかば幼稚園の教育が少しずつ変わる中で、特別な教育的支援を必要とする子どもたちがクラスや幼稚園生活に徐々に適応している様子が見られるようになりました。さらに、わかば幼稚園の教育を客観的に振り返ってみると、園内研修や園外研修を積み重ねる中で、教育内容や幼稚園の教育環境などが特別な教育的支援を必要とする子どもたちにとってはもちろん、特別な教育的支援を必要としない子どもたちにとっても居心地のよい場所になってきていると感じます。あわせて、幼稚園の様々な保育環境、幼稚園生活の各場面、人間関係等、どれを取っても、特別な教育的支援を必要とする子どもたちに無理をさせて取り組ませることはほとんどありません。その子どもに合わせて、できることから少しずつ取り組むことができるようにします。きっと、わかば幼稚園は楽しく遊べる場であり、生活習慣・集団生活を身に付ける場であり、学びの場になっていると思います。

今回は、「わかば幼稚園の教育と特別支援教育」というテーマでわかば幼稚園の教育を報告させていただきます。

2 わかば幼稚園の教育

わかば幼稚園は、子ども自身が「遊んでいる」実感をもてる教育をしています。家へ帰って保護者に「あ～、いっぱい遊んだ」と話し、さらに、「明日は〇〇して遊ぼう」と明日を楽しみにすることが一番大切なことと考えています。また、子どもが本気で遊ぶことで、楽しさ、工夫、協力、コミュニケーション等、様々な学びの芽が生まれると考えます。

教師は子ども自身が好きな遊びを選び、あるいは自分で遊びを創り出すことのできる時間と場所を保障することを第一に考えています。そのために、遊べる場所、保育室のおもちゃ、道具や材料はいつでも使えるように準備しています。保育の内容も「戸外の活動と室内の活動」「活発な活動と落ち着いた活動」を一日の中でバランスよくできるように、毎日の幼稚園生活の保育内容や流れを考えています。

(1) わかば幼稚園の一日

わかば幼稚園の子どもは、幼稚園まで保護者に徒歩、自転車、自動車で送られて登園してきます。ほとんどの子どもは9時に保育室に集まっています。その後、保育室、遊戯室、グラウンドなどその日の活動がそれぞれの場所で始まります。つまり、朝、保育室で遊んでいたクラスは日中や午後の活動、遊びは遊戯室やグラウンドで遊ぶことになります。このように一日の中で「戸外の活動と室内の活動」「活発な活動と落ち着いた活動」を保障することが大事なことを考えています。（表）

保護者も園内へ自由に入ることができ、担任と子どもの様子を話したり、悩んでいることをいつでも相談できたりします。また、クラスの様子を見ることもできるため、幼稚園の様子や保育のことがある程度理解されていると考えられます。

表 わかば幼稚園の一日

時間	7:30 ~8:40	8:40 ~9:00	9:00 ~10:00	10:00 ~10:30	10:30 ~11:40	11:40 ~12:30	12:30 ~13:30	13:30 ~14:00	14:00~
内容	朝の 預かり 保育	登園	朝の わくわく たいむ	片付け 朝の会	どきどき たいむ	昼食 お弁当	午後の わくわく たいむ	降園準備 帰りの会	徒歩 集団 降園

(2) わくわくたいむ（自由遊び）

“わくわくたいむ”は自由遊びのことです。自由遊びは、自由＝勝手気ままや放任ではないため、自由遊びという言葉は使わず、休み時間という位置付けでもありません。「今日は何して遊ぼう」と、ワクワクした気持ちで登園してほしいという考えで“わくわくたいむ”としました。最低限のルールの中で、子ども自身が好きな遊びをたっぷりできるようにしたいと考えています。クラス全員が一斉に同じ遊びをすることはあまりありませんが、教師がさせたい遊びを“わくわくたいむ”の中で一緒にすることもあります。

登園した後は教師の指示がなくても、自分の保育室で好きな遊びを始めてよいことになっています。前日作った積み木遊びの続きをしたり、昨日遊んでいたままごとや制作物の続きをしたりしている子どももいます。

新年度、新しいクラスになって、まず、教師が考えることは、子ども自身が自分の好きな遊びを選んだり、見付けたりできるような保育室にすること、「好きなことをして遊んでいい」という遊びの保障をすることです。子どもは好きな遊びができることで、教師にやらされているのではなく、自分の考えに合う遊びをすることができます。特に年度の初めは、好きな遊びをたくさんすることが、幼稚園や新しいクラスへの安心感、親しみを増すことにつながります。好きなことを時間的にも、内容的にも十分できることで、一つ一つの遊びに満足感や達成感をもつことができますと考えています。

わかば幼稚園では、“わくわくたいむ”を好きな遊びをしながら子どもの遊びの力を伸ばし、一人一人を成長させる“学び”と考えています。

学び＝

遊ぶ→自分でやる→楽しい→もっとやりたい→試す、工夫する

→自己肯定感・社会的評価（達成感・満足感）の向上→また遊ぶ

(3) どきどきたいむ（設定遊び）

“どきどきたいむ”は設定保育、一斉保育のことです。「先生はどんなことをしてくれるのだ

ろう？」と子どもたちがドキドキ楽しみにする時間にしたいと考えました。

- ① “わくわくたいむ”だけでは身に付かないこと。
- ② みんなで経験したほうが良いこと。
- ③ みんなで練習や協力が必要なこと。

等が“わくわくたいむ”との違いと考えています。

ただ、3歳児年少組は年間を通じて、4歳児年中組は年度の初めころまでは、一斉保育はあまりしません。その理由は、

- ① 一人一人の好きな遊びをたっぷりさせたい。
- ② 子どもの興味や関心がバラバラでなかなかまとまらない。
- ③ 子どもは、担任の話を落ち着いて聞くよりも、好きなことをしたい気持ちが強い。

というためです。

図の写真は4月の4歳児年中組の“どきどきたいむ”です。まず、“わくわくたいむ”の延長で好きな遊びを始めます。保育室の一角に、教師が「手形のスタンプ遊びコーナー」を設定しました。すると「先生何やってるの～」とやりたい子どもからスタンプ遊びを始めます。最大6人ほどしか活動する場所がありません。空いた場所から次の子どもがスタンプをします。こうすると、教師は一人一人と十分関わって保育を進めることができます。コーナーに参加していない子どもは、保育室内で落ち着いて好きな遊びに取り組んでいます。このような保育のやり方をするので、強制してやらせるのではなく、やりたい子どもがスタンプ遊びをすることになります。ほとんどの場合全員がやります。結果的に子どもはやりたいという気持ちで教師が設定した遊びをやるということになります。また、教師は特別な教育的支援を必要とする子どもたちともゆったり関わることができます。



図 どきどきたいむの様子

(4) 徒歩降園

わかば幼稚園の登園は毎朝、保護者が送ってきます。帰りは6コースに分かれて毎日、徒歩で集団降園をします。近いコースでわかば幼稚園から約0.8km、遠いコースで2.5kmあります。嵐や強風の日でなければ、集団徒歩降園をします。雨や雪の日でも基本的にはレインコートやスノーブーツを着て、徒歩で帰ります。少し道草をして、しりとりやなぞなぞなどをしながら、歩いて帰ります。ただ、体力のない子どもは無理はしません。歩く距離を少しずつ伸ばしていきます。

歩くことは、子どもにとって苦痛や大変なことではありません。かえって、「歩くのは楽しい！」と言う子どもが多いようです。雨の日にレインコートと長靴で歩くのも楽しいものです。毎日歩くことで少しずつ筋力が付いたり、持久力が付いたり、体幹が育ったりしています。さらに、長い距離を歩くことで心の育ちも大きいと感じています。

(5) わかば幼稚園らしい行事・自然活動

日常の保育活動のほかに、日常とは少し違う行事の活動があります。目標やねらいは活動ごとに違いますが、基本的な考え方は子どもたちが「楽しかった～」「またやりたいな」と思える活動にすることを大切にしています。特別な教育的支援を必要とする子どもも、できるだけ経験できるようにしています。

運動会やお遊戯会などの行事は5歳児年長組になると、少し頑張る、難しいことに挑戦するような、少しレベルの高い内容になります。しかし、3歳児年少組、4歳児年中組は日常の活動と同様に、年齢や興味・関心に合わせた内容、指導方法を考えて、あまり難しいことはしないようにしています。どんなことをするか分かりやすく、取り組みやすい内容で、園児みんなが楽しめるということを考えます。

自然の中で遊ぶこと、野菜の栽培をすることなど、自然と関わるができる活動を幼児期に経験することが大事なことでと考えています。わかば幼稚園のある旭川緑が丘地域を中心に、大き

な自然を直接体験させたいと考え、幼稚園近くを流れる忠別川で一年にわたって川遊び・川流れ体験、忠別川近くの神楽岡公園での自然散策、サケ遡上の観察（忠別川）、サケの稚魚の飼育と放流（忠別川）、旭川国際バーサースキー大会 5 km コース参加（忠別川河川コース）に取り組んでいます。子どもたちにとって達成感を強く感じる楽しい活動になっています。

(6) コミュニケーション力を育てる放送教育

わかば幼稚園では、25年以上にわたってNHK教育番組を利用した幼児放送教育に取り組んでいます。年齢によって目標やねらいは違いますが、その基本にあることは

- ① みんなで楽しく番組を見る。
- ② 番組に対する感想や意見を話し、友達の意見も聞く。
- ③ 友達や教師との共感を大事にしながら、お互いの違う意見も認め合う。
- ④ 自分のやってみたい遊びをする。

になります。これらは、年齢によってレベルの違いはありますが、一つの番組を見た後に、子どもの成長に合った意見交換をして、遊びに発展したり、課題を見付け解決する活動をしたりするようになります。自分の意見や活動を、教師を含めたクラス全体で認めてもらうことで、相手の意見や活動を認められるように成長します。これらの積み重ねで、子ども同士のコミュニケーション力が育っています。

3 わかば幼稚園の特別支援教育

これまで、わかば幼稚園の子どもが“生き生きできることを考えた教育”について述べてきました。幼稚園に入園した子どもは幼稚園生活を積み重ねる中で、年齢相応に成長し基本的な生活習慣を身に付けるとともに、集団行動や集団のルールに慣れ、理解し、行動できるようになるものです。特別な教育的支援が必要な子どもたちも日常の生活や遊び、クラスの友達の行動や言葉の影響で大きく成長します。担任と副担任はその子どもの特徴や成長に合った配慮、指導をします。また、周囲の友達と一緒に様々な経験を積み重ねることができるよう計画を立てます。

わかば幼稚園の特別支援教育をどのように考え、実践しているかを以下で説明します。

(1) 入園 ～ 他の保護者にも理解してもらう

特別な教育的支援を必要とする子どもが幼稚園に入園する場合、入園希望の保護者に教育の方針をよく説明して、幼稚園側と保護者の両方が納得して入園を決めます。入園後、参観日の保護者懇談の中で、特別な教育的支援を必要とする子どもの保護者から、他の保護者の方へ子どものことを簡単に話してもらいます。その直後、担任から幼稚園・クラスでどのような対応をするかを説明します。保護者は快く受け入れてくれます。特別な教育的支援が必要な子どもの保護者の方に対して「大丈夫よ！分かっているから！」と温かい声をかけていただくこともあります。

(2) 幼稚園が自分の居場所になる ～ 周りの子どもたちの理解が必要

特別な教育的支援を必要とする子どもは、まず、幼稚園の建物や雰囲気慣れることが必要です。幼稚園の中がどうなっているか、自分の好きなおもちゃがどこにあるかなど、幼稚園の中が気になっています。入園して初めに、必ず副担任が付いて歩いて、納得し、安心するまで探検していいことにしています。

時には、他の子どもたちが作った積み木の作品を壊してしまうこともあるでしょう。しかし、年長の子どものみであれば、壊した子どものことを理解しているため、「また作るからいいよ」と言うこともよくあります。ただ、教師は壊された子どもたちの心情を十分くみ取って、感謝の気持ちをしっかり伝えることが大事と考えています。このように周囲が迷惑でない限りは担任、副担任が最大限の注意を払って、見守ります。こうして、子どもたちは徐々に幼稚園に慣れて、幼稚園や自分のクラスが安心して遊べる自分の居場所になっていくのです。

また、周囲の子どもたちも特別な教育的支援を必要とする子どもの手伝いをしたくなる時期があります。その場合も、副担任が特別な教育的支援を必要とする子どもとの距離を適切に取り、クラスの子どもたちと関わる機会を増やします。周囲の子どもは入園からずっとその子どもの様子、担任や副担任の関わり方を見ているため、必要な支援をある程度理解して手伝いを上手にしてくれています。

(3) 本人の成長

特別な教育的支援を必要とする子どもたちの多くは先の見通しがもてなかったり、待てなかったり、集団行動ができなかったりと、課題は一人一人違います。しかし、クラスの他の子どもたちが特別な教育的支援を必要とする子どもたちの前で列に並んだり、集団のルールを守ったり、お片付けをしたりということを毎日目にしていると、みんなの行動が気になってきます。また、優しく手をつないでくれる友達が現れると嫌な気持ちにはなりません。このような幼稚園の中でプラスの経験が積み重なり、そこに本人の心の成長、体の成長が合わさることで、いつの間にかみんなと一緒に行動する姿も見られるようになります。こうなると集団行動もある程度できるようになります。

(4) 「すくらむ」の活用と関係機関との連携

わかば幼稚園では上川版個別の支援計画「すくらむ」（子ども理解シート）を園児全員が使っています。そして、年に2～3回保護者との個別懇談会を開いています。

① 「すくらむ」を保護者と担任と一緒に記入することで、子どもの成長や現在の課題の共通理解ができます。

② 園全員が「すくらむ」を使うことで、「すくらむ」は特別な教育的支援を必要とする子どもだけのものではないと理解してもらえます。

また、クラスに気になる子どもが出た場合、「すくらむ」を作ることにより、どんな対応をするか保護者と話し合いを進めるきっかけになります。

さらに、デイサービス、特別支援学校、旭川市発達相談室、医療機関などの関係機関に相談、訪問、情報交換するなど、外部からの意見をできるだけ聞くようにします。これが、幼稚園の特別支援教育にいい影響があり、実際に小学校入学の際の就学相談や小学校との連携にも生かされています。

4 まとめと今後の課題

わかば幼稚園は「子ども、親、教師みんなが生き生きできる幼稚園」を目標に、教育の内容、生活や遊びの場所としての幼稚園全体や保育室を少しずつ変えてきました。わかば幼稚園の教育の形が変わる中で、子どもたちが「楽しい」「また、やりたい」「先生に褒められちゃった」と幼稚園生活を楽しみながら成長する様子を、教師は実感し、手応えを感じるようになりました。その中で特別な教育的支援を必要とする子どもたちも、幼稚園生活の中で表情が豊かになったり、友達と遊ぶ場面が増えたり、集団行動ができるようになったりと様々なよい変化と成長が見られました。

私たち教師は、どの子どもにとっても、好きなことから幼稚園生活が始まり、子どもの興味や成長・年齢に合わせた保育内容を考え、子どもが主体の幼稚園生活を展開するということが大切なことと考えることができるようになりました。保護者にとっても、特別な教育的支援が必要として入園した子どもが、幼稚園生活を生き生きして楽しむ様子を見て、子どもの成長を感じることができ、子どもの現在の状態を受け止められるようになります。さらに、「これからどうする」という前向きな考え方ももてるようになってきます。

これからも、教師自身が日々の学級運営をよりよい方向で実践を進め、子どもの将来を考えながら、今の成長をしっかり把握し、保護者と深い話し合いができる幼稚園でありたいと考えています。



白糠町における特別な教育的ニーズのある子どもの 社会参加・貢献を目指した取組 ～町が一体となった特別支援教育の取組～



白糠町教育委員会【板谷 聖一 教育長】
白糠町教育委員会指導室 室長 川島 眞澄

1 はじめに

白糠町は、道東釧路管内にある、人口約9千人の小さな町です。漁業・農業・林業が盛んな地域であり、水産物（毛蟹・シシャモ・柳ダコ等）や、農産物・乳製品など、「食と食材の町」としても知られています。

町内の学校は、小学校が3校、中学校が3校の計6校で、そのうち1校が小・中併置校で、学校そのものは5校しかありません。その他に、公立・私立の幼稚園・保育園が計6つあります。

さらに、町内に、北海道白糠養護学校（以下、「白糠養護学校」とする。）、北海道白糠高等学校があり、幼稚園・保育園、小・中学校、高等学校、特別支援学校と、大学を除くほぼ全種の学校が存在しています。これは、釧路管内では珍しく、白糠町の大きな特徴といえます。

したがって、特別支援教育に関しても、就学前から情報を共有化し、子どもたちが社会に出るまで一貫した教育を行うことができます。

表 町内小・中学校の児童生徒数

学校名	児童生徒数	特別支援学級数
白糠小学校	195名	3学級
庶路小学校	115名	3学級
茶路小学校	12名	なし
白糠中学校	97名	3学級
庶路中学校	73名	1学級
茶路中学校	18名	1学級

2 子どもたちの成長の記録化

白糠町のみならず、管内では釧路管内特別支援連携協議会が、特別な教育的支援を必要とする子どもたちのための個別の教育支援計画（「マリーモ」）を作成しました。白糠町では、北海道教育委員会が作成した個別の教育支援計画とマリーモを参考にしながら独自の個別の教育支援計画を作成し、それぞれの学校間で卒業（園）時に情報を引き継ぐようにしています。

どの地区でも作成されているものと思いますが、就学前の子どもの様子や保護者の願い、指導の留意点、主治医のアドバイスなど、成長していく子どもの姿を克明に記録していきます。各学校を卒業（園）する際に、必ず次の学校へ引き継ぎ、指導の一貫性をもたせることに大いに役立っています。最終的には、子どもたちが社会に巣立つときにも、それらの指導の歩みを記載したものを所持できるようにしています。

このようにして、特別な教育的支援を必要とする子どもたちの姿を克明に記録することにより、次への指導の大きな手掛かりとなっています。

3 町の学校間の連携

恵まれたことに、白糠町には特別支援学校（白糠養護学校）があることにより、町内に特別支援教育の専門的なスタッフが大勢います。各学校・園、高等学校は、随時、白糠養護学校のスタッフに直接指導の在り方についてのアドバイスを受けられるようになっています。

◆ 特集・実践 教育委員会の取組 ◆

時には、各学校・園にスタッフを招き、特別な教育的支援の必要な子どもの様子を直接見ていただきながら、これからの指導をどのように行うのがよいかを相談することもできます。

また、就学前の子どもたちへも、保護者からの要望があれば、各種検査を実施する機関としての機能も有しています。それにより、早期に特別な教育的支援を必要とする子どもの実態を把握し、できるだけ早い時期からの対応を行っています。

具体的には、町の教育支援委員会において、保護者からの申し出の他、幼稚園・保育園の先生方からも情報を得て、検査を受けることのアドバイスを保護者に伝えることもあります。もちろん、すべての保護者がそれを受け入れるわけではありませんが、特別な教育的支援を必要と考えられる子どもには、できるだけ早い段階からの支援が効果的であることを伝え、特別な教育的支援を必要とする子どもの早期発見・早期支援に努めています。

また、白糠町交流教育研究協議会が中心となり、各学校の実態や活動内容を交流する場を設け、年度末には「交流教育だより」を発行し、広く特別支援教育の内容を還流しています。



図1 交流だより

4 各学校・園と教育委員会との連携

町内の公立幼稚園、小・中学校には、年に2回、教育委員が学校訪問を行い、それぞれの園や学校の様子を直接見る場面を設定しています。そこでは、学校・園の教育の内容や実態、子どもたちの様子等を細かく現場の教諭から説明してもらっています。特別な教育的支援が必要と考えられる子どもについても話題とし、これからの就学に当たって、どのような形が最善であるか等を検討する場ともなっています。

その他に、教育長自らが毎月1度、各学校・園を訪問し、管理職との懇談の中で、気になる子どもの情報を把握するようにしています。また、指導室も毎月1度各学校を訪問し、直接授業を参観する中で、子どもたちの様子を確認しながら、気になる子どもの把握をするようにしています。

したがって、学校と教育委員会は大変近い関係にあり、学校、教育委員会の双方向の連絡が常々行われています。

先にも記したとおり、特別な教育的支援を必要とする子どもたちには、できるだけ早期に適切な対応が行われることが大切であり、それを実施するためにも、多くの目で子どもたちを見守る必要があると考えています。

5 白糠養護学校との連携

白糠養護学校には、専門的な知識をもった先生が多いことから、各学校・園でも大いにそのスタッフに助けられています。子どもが幼い場合には、その子どもが本当に特別な教育的支援が必要か否かに気付くことは、大変難しいことです。中には単に「落ち着きのない子ども」として見逃されてしまう場合も少なくありません。そんな場合でも、少しでも気になる子どもがいた場合、白糠養護学校のスタッフに、直接その子どもの様子を見てもらったり、面談してもらったりすることで、適切なアドバイスを受けることが可能となっています。

これは町としても大変ありがたいことで、今後も一層の力添えをいただきたいと考えているところです。

6 釧路管内の教育支援委員会

釧路管内には、釧路市を除いて6町村（釧路町・弟子屈町・標茶町・浜中町・鶴居村・白糠町）で構成する、教育支援委員会が設立されています。

ここでは、毎年就学相談の必要と思われる子どもたちの情報を共有し、各町村の担当者、特別支援学校教諭、医療関係者が一同に会し、教育支援委員会に上がってきたすべての子どもについて、一人一人検討を行い、適切な就学相談が行われるよう話し合いがもたれます。

各町村では、教育支援委員会の前に、保護者、各学校・園から報告された特別な教育的支援を必要とする可能性のある子どもたちやその保護者と面談を行い、教育支援委員会の会議にかけるかどうかを検討します。その後、保護者の了解を得て、専門的な医療機関のアドバイスも含め、客観的に子どもたちの対応について検討を行うこととなっています。

最近を対象となる子どもたちの数が増え、数日間にわたって一人一人の子どもについての検討が行われることが多くなってきました。しかし、町や村単独で判断を行うのではなく、多くの立場や視点で子どもたちを客観的に見る必要があると考え、このような取組を行っています。

7 小・中学校における特別支援教育支援員の配置

白糠町では、町費によってすべての小・中学校に、特別支援教育支援員を配置しています。各学校に1名配置し、既存の教員の補助を行い、特別な教育的支援を必要とする子どもたちにきめ細かな指導・支援が行われるようにしました。

子どもたちがいる間はフルタイムで、1日6時間の勤務をしています。特別な教育的支援を必要とする子どもたちの日常生活での支援や学習の支援、特別支援学級の教員と協力しての教材づくりなどを行っています。

特別支援教育支援員の資格は、教員免許を取得している方としています。現在は退職した校長先生や教職経験のある方などを配置し、それぞれの学校において適切な指導を行っていただいています。

8 特別支援学級の交流

町内にある特別支援学級同士が交流する場面も設定しています。年に1度すべての特別支援学級が他の地域に赴き、他の町村との交流会を実施しています。そこでは、子どもたちの交流と同時に、特別支援教育に関わる教員同士が、様々な情報交換を行う場としても有効に機能しています。

また、白糠養護学校の子どもたちと町内の学校が交流し、互いに学びを通して友好関係を深めています。さらに、白糠高等学校において白糠養護学校の子どもたちを招き入れ、交流活動を行っています。

これらの取組は、できるだけ多くの人と接し、互いが理解し合い、助け合う気持ちを醸成する適切な機会となっています。



図2 交流会の様子

表2 交流の実施団体 白糠町交流教育連絡協議会所属団体一覧

【所属団体】 白糠小学校・庶路小学校・白糠中学校・庶路中学校・茶路小中学校・白糠高等学校・白糠養護学校・庶路幼稚園・白糠双葉幼稚園・白糠学園・太陽の家・身体障害者福祉協議会白糠分会・白糠町福祉課・白糠町教育委員会

9 町民との関わり

白糠町の西地区には、白糠養護学校、白糠学園、特別養護老人ホーム（清和園）があります。そこで開かれる各種行事には、多くの町民も参加し、特別支援教育への理解を深める機会となっています。

白糠養護学校で行われる運動会や白糠学園で実施する「学園祭り」には、町の商工会、ライオンズクラブ、白糠高等学校、教育委員会、各学校も協力し、特別支援学校の子どもたちとの交流を積極的に図っています。

また、各学校・園の特別支援学級に在籍する子どもたちや特別な教育的支援を必要とする子どもたちも積極的に町内行事に参加するなど、町ぐるみで特別支援教育への関心を高めています。

10 社会への進出

特別支援学校や特別支援学級を卒業した子どもたちは、それぞれの希望によって進路を決定していきますが、白糠町内にもその受入れ先があります。その一つが、白糠地区にある「太陽の家」と、庶路地区にある「虹の家」です。それぞれの施設では、パンやクッキー等、その他にも惣菜等を手作りし販売しています。時には町内だけではなく、釧路市の手スーパーなどにも出店し、多くのお客様に好評を得ています。

また、積極的に施設見学のための門戸を開き、白糠養護学校の子どもたちが作業体験を行う場ともなっています。特別な教育的支援を必要とする子どもたちの社会進出の場は決して多いとはいえませんが、こうした機関が町内にあることによって、町民の理解も一層深まりつつあります。

同時に、町内にある「身体障害者福祉協会白糠分会」には、こうした施設への物心両面からの援助をはじめ、町全体が福祉に対する意識を高めるために協力をいただいています。

11 今後の特別支援教育に向けて

現在白糠町には、35名の特別支援学級に在籍する子どもがいます。その子どもたち一人一人については、先に記した「個別的教育支援計画」（マリーモ）が作成され、個に応じた適切な対応が行われています。しかし、通常の学級にも特別な教育的支援が必要ではないかと思われる子どもが存在しているのが現状です。その多くは、保護者の理解が得られず適切な対応が遅れている場合がほとんどです。特別な教育的支援が必要な子どもは、決して特別な存在ではありません。支援が必要な面はその子どもの個性であると認識し、教育的ニーズに合った適切な指導が必要です。

白糠町は小さな町であるため、いまだに特別支援学級に在籍することや、特別な教育的支援が必要な子どもであると判断されることへの理解が十分ではありません。学校の現場が現在、個に応じた指導を掲げているにもかかわらず、特別な教育的ニーズのある子どもたちすべてに適切に対応できているかといえば、こちらも十分ではありません。

特別な教育的支援を必要とする子どもたちの実態を広く社会に認識してもらい、特別な教育的支援へのハードルを少しでも低くしていくことが必要です。そのためにも、今後一層、学校・園・関係機関が連携を密にし、情報を交流し合い、それを広く社会に発信していくことが大切であると考えています。

町の取組が釧路管内の取組となり、更には全道・全国の取組となって広がり、そして、各地域の取組を参考としながら、子どもたちへの対応を充実させていく必要があります。今後も、子どもたち一人一人がその個性を生かし、自分らしい生き方ができるよう、社会全体が力を合わせて邁進することを期待しています。



長沼町立長沼中学校における 特別支援学級の職場体験

～地域の中でたくましく生活する子どもの育成を目指して～

長沼町立長沼中学校【増 谷 英 人 校長】

教諭 三 浦 智 恵



1 はじめに

長沼中学校では、卒業後の社会参加と自立に向けて、働く習慣や意義、職場でのルールや人との関わり方を学ぶことを目的として、多くの事業所や施設のご理解・ご協力の下、障がいの特性に応じた職場体験や実習に取り組んでいます。

様々な障がいのある生徒が、在学中の職場体験や実習を通して成長し、自己実現を果たしていますが、発達障がいのある生徒については十分な理解がされているとは言い難く、周囲の理解を得て社会参加や就労を実現するのは難しいといった状況も見られます。

「抽象的な思考や未経験な事柄について考えるのが苦手な生徒に、具体的な体験を通して社会を垣間見ることから始めなくてはならない」「周囲の理解を得て地域社会に貢献することで、成長し自信を付けてほしい」という願いの下、一昨年から職場体験を行っています。

2 生徒の実態

本校は、今年度統合になったばかりの学校です。北長沼中学校・中央長沼中学校・南長沼中学校の3校が統合になり、生徒数246名でスタートしました。

そのうち特別支援学級は自閉症・情緒障害、知的障害、病弱・身体虚弱、言語障害の4種の学級があり、9名の生徒が在籍しています。9名のうち5名が広汎性発達障害の診断を受けており、場の空気が読めなかったり趣味が独特だったりするなど、同年代とのやりとりが苦手な生徒が多い傾向です。小学生の遊び相手やお世話をするのが得意な生徒、適応指導教室に通う生徒と仲良くなり、登校へと導いた生徒もいます。

さらに、将来何をしたいかと尋ねると「AKB48に入りたい」「自宅の隣にお好み焼き屋を開き、お客さんが来たら作ってあげる」と答えるなど、働くこととはどういうことか、早い時期から考えていく必要性も感じられました。

3 地域及び福祉、労働等の関係機関との連携

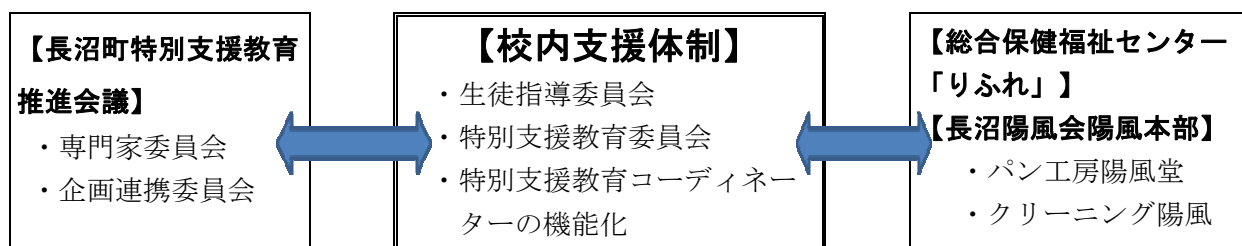


図1 関係機関との連携

4 職場体験の必要性

将来子どもたちが直面するであろう様々な課題に柔軟かつたくましく対応し、社会人・職業人として自立していくためには、進路を自分の問題として考え始める時期に、自己の生き方を考えることができるようにすることが大切です。自己の生き方を考えることができるとは、以下の三つのことが考えられます。

一つには、人や社会、自然との関わりにおいて、自らの生活や行動について考えていくことです。社会や自然の中に生きる一員として、何をすべきか、どのようにすべきかなどを考えることです。

二つには、自分にとっての学ぶことの意味や価値を考えていくことです。取り組んだ学習活動を通して、自分の考えや意見を深めることであり、また、学習の有用感を味わうなどして学ぶことの意味を自覚することです。

三つには、学んだことを現在及び将来の自己の生き方につなげて考えることです。学習の成果から達成感や自信をもち、自分のよさや可能性に気づき、自分の人生や将来、職業について考えていくことです。

特別な教育的支援を必要とする生徒の中には、自己肯定感を得られないために大人に対して反抗的な態度を取ってしまう生徒、過度の感覚過敏があるため将来に自信がもてない生徒、今学習していることが将来どのように役立つのか分からず「10年後の自分」と言われても具体的にイメージできない生徒等、様々な課題を抱えている生徒がいます。ほとんどの生徒は高等支援学校（高等養護学校）への進学を希望し、中学校卒業後、寄宿舎に入舎し親元を離れて生活します。そのような生徒にとって、事前や事後の学習を含めた職場体験は、学校や家庭での生活と関連を図り、将来の自立へ向けた自覚を芽生えさせる体験として、有意義で必要なものと考えています。

5 年間計画【地域社会参加を目指した職場体験（進路学習）】

	生活単元学習	職場体験（進路学習）
4月	身近な仕事、いろいろな仕事（1時間）	南幌養護学校生徒との交流（1時間）
5月	・家族の仕事について発表・報告 ・地域の作業や卒業生の進路状況 （1時間）	仮想体験「スーパー長中」 ・買い物・販売練習（数学科と連携）
6月	「働くってどういうことだろう？」 （1時間） ※ 図3 職場体験ワークシート参照	
7月	「働くために必要なこと」（1時間） ※ 図3 職場体験ワークシート参照	
8月	職場体験の内容（1時間） ・シミュレーション練習	学校祭での販売実習（数学科と連携） ・学級菜園の野菜、アクリルたわし
9月	職場体験 「働いてみてどうだった？」（1時間） ※ 図3 職場体験ワークシート参照	職場体験（作業学習） 調理パーティー
10月	職場体験の反省 ・職場の方からの評価受け止め ・担任と話し合い ・交流会発表練習（1時間：個別）	町内交流会（収穫祭）

◆ 特集・実践 義務教育段階の取組 ◆

1 1 月	・職場体験交流会 ・お礼状を書こう（国語） ・自分の得意なこと、不得意なこと （1 時間：個別と合同）	 図2 職場体験交流会の様子
1 2 月 1 月	自己理解と将来に向けて ・私のプロフィール（1 時間） ・10年後の自分（国語） ・面接に向けて（3 時間） ・願書の書き方（3 時間） ・履歴書の書き方（2 時間）	
2 月 3 月	進級・卒業に向けて 仲間への手紙（国語）	

図2 職場体験交流会の様子

【DE能達者レベル1】

姓	名
---	---

職場体験実習

考えよう！「働く」って、どういうことだろう？

1. おとなになるって、ほとんどの人は何歳くらいで出ていきます。人は大人になったら、どうしてもたらくのしょうか？

A 生活するのに必要な収入（お金）を得るため
 B 会社で働いたらうけたり、働かずとも働かなくてもいいようにするため
 C 世帯（高い家賃や生活費など）や家族（子ども）の能力や行為と認められること）を得るため
 D 自分の個性や才能（自分よりできないことや自分からいへないこと）を生かすため
 E やりたいことや夢（仕事を通して）をきかためるため
 F 知識や能力を磨く（習得しようとする）こと
 G 夢のなかへ



Hana

● 自分のかたちと比べてみてみよう！

Aは、なぜ「働く」のだろう？	
どうしてそう思ったのか？	

2. 「働く」といえるのに必要なことってなんだろう？ ● 「～人」「～ができる人」と考えてみよう。

【D区 経産局学校2】	姓 名
-------------	--

職場体験実習★大切なこと

やってみよう！「働く」ために必要なこと

1. あいさつ

おはようございます	こんにちは はじめまして しつぱいしました（しつぱいしました） きょうなら ごくようまでした（ごくようまでです） ありがとうございます（ありがとうございます）
-----------	--

2. 話を聞く

手を止める 目を見る 口をきく 姿勢をかたむける	
-----------------------------------	--

3. 伝える

こんにちは、わたしたちは中央長沼中学校から来て とくき、給食の……です。 今日は職場体験実習がお旺になります。わたしたちは がんばりますのでようしくお願いします。	★はじめのあいさつ 《 》 〇〇 〇〇 〇〇
--	---------------------------

- | | |
|---|---------------------------|
| 今日は、お旺しい中、わたしたちのために時間をさいて対応してくださり、
ありがとうございます。 | ★終わりのあいさつ 《 》
〇〇 〇〇 〇〇 |
|---|---------------------------|

今日の宿題は「**よくかったこと、がんばったこと、気づいたこと、感謝したいこと**」です。
 でした。この次もまた、よろしくお願いします。
 今日は本当にありがとうございました。きょうなら、えんじたいします。

（話しかける） （よく聞く 聴解） （わんから 連絡） （そうだん 相談）	えんじします。ち、よろしいでしよう。 できました（お旺りました） へんじにました。 ← 何となくかたがたの返事する 分らないので教えてください。 へんじのですね。どうすればいいですか。 次は何をすればいいでしようか。
--	---

【O/E看護専門学校2】	年 組 名前
--------------	---

職場体験実習レポート

伝えよう！「働いて」みて、どうだった？

1. 「こんな活動をしたよ！」活動報告

仕事場所	お体験に なった人
お仕事内容	さん、 さん

体験内容	ほしめ
	つぎ
	そして
	さいごに

2. 思ったこと・感じたこと、経験したことを書きましょう

一生懸命がんばったこと	
ほめられたり あめめられたところ	
迷惑されたり 失敗してしまったところ	
今日の体験の中で 思ったこと 感じたこと	
次の実習の目標！	

【D/E 経理経路学習3】	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center;">姓</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">名</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">所属</td> </tr> </table>	姓	名	所属
姓	名	所属		

職場体験実習まとめ

まとめよう！「働く」って、どういうことだろう？

1. 「働く」って、どういうことだと考えていますか？

人は、なぜ 「働く」 のだろう？	
どうして そう思った のかな？	

2. 実際に書いてみてどうでしたか？良かったことや気づいたことを書いておこう。

● 一生懸命がんばったこと ○ ほめられたり、 みとめられたところ ● 失敗したり ○ 気づいてしまったこと ● 楽しかったこと ○ 気づいたこと	
--	--

3. 働く人に必要なことは何ですか。「働く」ってどういうことだと感じましたか。

「働く人」に 必要なこと	
「働く」って こういう 事だ！	

図3 職場体験ワークシート

2012年 11/20 (木)

【D.E.経道語学部2】 年 E 組 名前

職場体験実習レポート

伝えよう! 「働いて」みて、どうだった?

1. 「こんな活動をしたよ!」活動報告

仕事場所	ひまわり会館	お世話になった人	さん さん
お仕事内容	パン作り		
体験内容	はじめに 半分に分けます。 つぎに 表面を上にして折ります。 そして 折れないように整えます。 最後に 輪ゴムでハバをひかえよう! とします。		

2. 思ったこと・感じたこと・発見したことメモしよう

一生懸命がんばったこと	はじめは、折るのがうまくできなくて大変だったけど、折れると少くかんたんでした。
ほめられたり、みとめられたところ	上手にできたね! とほめられました。(先生)
注意されたり、失敗してしまったところ	角の折り方が、折れなかった。(先生)
今日の体験の中で、思ったこと、感じたこと	仕事をするといかに大変か、とわかりました。
次の実践の目標!	先ほどに折っていたから、失敗が少なくなりました。(自分で)

【D.E.経道語学部2】 11月 20日 記入者

職場体験実習★勤務評定

やってみよう! ちゃんと「働けた」かな?

【ふりがな】 実習生: 氏名		中央長沼中学校 / 年 E 組
番号	基準	結果
1	時間に余裕をもって職場に着くことができた。	A・B・C
2	あいさつや返事をきちんとすることができた。	A・B・C
3	説明やお話を聞くときは、姿勢を正して、相手の話をよく聞くことができた。	A・B・C
4	仕事中は、集中して熱心に取り組むことができた。	A・B・C
5	受け答えや質問など、相手に伝わるよう話し方や伝わりやすい声の大きさでお話することができた。	A・B・C
6	かたづけや整理整頓など、進んで行うことができた。	A・B・C
総合評価		A・B・C
特記事項	・大きな声であいさつが自己紹介ができていて、よかったです。 ・1枚1枚丁寧に作業していただきました。 ・今後、同じ作業に当たったときは、スピードアップできればいいと思います。	

2013年 1月 21 (木)

【D.E.経道語学部2】 年 E 組 名前

職場体験実習レポート

伝えよう! 「働いて」みて、どうだった?

1. 「こんな活動をしたよ!」活動報告

仕事場所	ひまわり会館	お世話になった人	さん さん
お仕事内容	パン作り作業		
体験内容	はじめに 紙を半分に分けます。 つぎに ものりや糊で角を合わせて折ります。 そして 番号が上から1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14、15、16、17、18、19、20、21、22、23、24、25、26、27、28、29、30、31、32、33、34、35、36、37、38、39、40、41、42、43、44、45、46、47、48、49、50、51、52、53、54、55、56、57、58、59、60、61、62、63、64、65、66、67、68、69、70、71、72、73、74、75、76、77、78、79、80、81、82、83、84、85、86、87、88、89、90、91、92、93、94、95、96、97、98、99、100、101、102、103、104、105、106、107、108、109、110、111、112、113、114、115、116、117、118、119、120、121、122、123、124、125、126、127、128、129、130、131、132、133、134、135、136、137、138、139、140、141、142、143、144、145、146、147、148、149、150、151、152、153、154、155、156、157、158、159、160、161、162、163、164、165、166、167、168、169、170、171、172、173、174、175、176、177、178、179、180、181、182、183、184、185、186、187、188、189、190、191、192、193、194、195、196、197、198、199、200、201、202、203、204、205、206、207、208、209、210、211、212、213、214、215、216、217、218、219、220、221、222、223、224、225、226、227、228、229、230、231、232、233、234、235、236、237、238、239、240、241、242、243、244、245、246、247、248、249、250、251、252、253、254、255、256、257、258、259、260、261、262、263、264、265、266、267、268、269、270、271、272、273、274、275、276、277、278、279、280、281、282、283、284、285、286、287、288、289、290、291、292、293、294、295、296、297、298、299、300、301、302、303、304、305、306、307、308、309、310、311、312、313、314、315、316、317、318、319、320、321、322、323、324、325、326、327、328、329、330、331、332、333、334、335、336、337、338、339、340、341、342、343、344、345、346、347、348、349、350、351、352、353、354、355、356、357、358、359、360、361、362、363、364、365、366、367、368、369、370、371、372、373、374、375、376、377、378、379、380、381、382、383、384、385、386、387、388、389、390、391、392、393、394、395、396、397、398、399、400、401、402、403、404、405、406、407、408、409、410、411、412、413、414、415、416、417、418、419、420、421、422、423、424、425、426、427、428、429、430、431、432、433、434、435、436、437、438、439、440、441、442、443、444、445、446、447、448、449、450、451、452、453、454、455、456、457、458、459、460、461、462、463、464、465、466、467、468、469、470、471、472、473、474、475、476、477、478、479、480、481、482、483、484、485、486、487、488、489、490、491、492、493、494、495、496、497、498、499、500、501、502、503、504、505、506、507、508、509、510、511、512、513、514、515、516、517、518、519、520、521、522、523、524、525、526、527、528、529、530、531、532、533、534、535、536、537、538、539、540、541、542、543、544、545、546、547、548、549、550、551、552、553、554、555、556、557、558、559、560、561、562、563、564、565、566、567、568、569、570、571、572、573、574、575、576、577、578、579、580、581、582、583、584、585、586、587、588、589、590、591、592、593、594、595、596、597、598、599、600、601、602、603、604、605、606、607、608、609、610、611、612、613、614、615、616、617、618、619、620、621、622、623、624、625、626、627、628、629、630、631、632、633、634、635、636、637、638、639、640、641、642、643、644、645、646、647、648、649、650、651、652、653、654、655、656、657、658、659、660、661、662、663、664、665、666、667、668、669、670、671、672、673、674、675、676、677、678、679、680、681、682、683、684、685、686、687、688、689、690、691、692、693、694、695、696、697、698、699、700、701、702、703、704、705、706、707、708、709、710、711、712、713、714、715、716、717、718、719、720、721、722、723、724、725、726、727、728、729、730、731、732、733、734、735、736、737、738、739、740、741、742、743、744、745、746、747、748、749、750、751、752、753、754、755、756、757、758、759、760、761、762、763、764、765、766、767、768、769、770、771、772、773、774、775、776、777、778、779、780、781、782、783、784、785、786、787、788、789、790、791、792、793、794、795、796、797、798、799、800、801、802、803、804、805、806、807、808、809、810、811、812、813、814、815、816、817、818、819、820、821、822、823、824、825、826、827、828、829、830、831、832、833、834、835、836、837、838、839、840、841、842、843、844、845、846、847、848、849、850、851、852、853、854、855、856、857、858、859、860、861、862、863、864、865、866、867、868、869、870、871、872、873、874、875、876、877、878、879、880、881、882、883、884、885、886、887、888、889、890、891、892、893、894、895、896、897、898、899、900、901、902、903、904、905、906、907、908、909、910、911、912、913、914、915、916、917、918、919、920、921、922、923、924、925、926、927、928、929、930、931、932、933、934、935、936、937、938、939、940、941、942、943、944、945、946、947、948、949、950、951、952、953、954、955、956、957、958、959、960、961、962、963、964、965、966、967、968、969、970、971、972、973、974、975、976、977、978、979、980、981、982、983、984、985、986、987、988、989、990、991、992、993、994、995、996、997、998、999、1000、1001、1002、1003、1004、1005、1006、1007、1008、1009、1010、1011、1012、1013、1014、1015、1016、1017、1018、1019、1020、1021、1022、1023、1024、1025、1026、1027、1028、1029、1030、1031、1032、1033、1034、1035、1036、1037、1038、1039、1040、1041、1042、1043、1044、1045、1046、1047、1048、1049、1050、1051、1052、1053、1054、1055、1056、1057、1058、1059、1060、1061、1062、1063、1064、1065、1066、1067、1068、1069、1070、1071、1072、1073、1074、1075、1076、1077、1078、1079、1080、1081、1082、1083、1084、1085、1086、1087、1088、1089、1090、1091、1092、1093、1094、1095、1096、1097、1098、1099、1100、1101、1102、1103、1104、1105、1106、1107、1108、1109、1110、1111、1112、1113、1114、1115、1116、1117、1118、1119、1120、1121、1122、1123、1124、1125、1126、1127、1128、1129、1130、1131、1132、1133、1134、1135、1136、1137、1138、1139、1140、1141、1142、1143、1144、1145、1146、1147、1148、1149、1150、1151、1152、1153、1154、1155、1156、1157、1158、1159、1160、1161、1162、1163、1164、1165、1166、1167、1168、1169、1170、1171、1172、1173、1174、1175、1176、1177、1178、1179、1180、1181、1182、1183、1184、1185、1186、1187、1188、1189、1190、1191、1192、1193、1194、1195、1196、1197、1198、1199、1200、1201、1202、1203、1204、1205、1206、1207、1208、1209、1210、1211、1212、1213、1214、1215、1216、1217、1218、1219、1220、1221、1222、1223、1224、1225、1226、1227、1228、1229、1230、1231、1232、1233、1234、1235、1236、1237、1238、1239、1240、1241、1242、1243、1244、1245、1246、1247、1248、1249、1250、1251、1252、1253、1254、1255、1256、1257、1258、1259、1260、1261、1262、1263、1264、1265、1266、1267、1268、1269、1270、1271、1272、1273、1274、1275、1276、1277、1278、1279、1280、1281、1282、1283、1284、1285、1286、1287、1288、1289、1290、1291、1292、1293、1294、1295、1296、1297、1298、1299、1300、1301、1302、1303、1304、1305、1306、1307、1308、1309、1310、1311、1312、1313、1314、1315、1316、1317、1318、1319、1320、1321、1322、1323、1324、1325、1326、1327、1328、1329、1330、1331、1332、1333、1334、1335、1336、1337、1338、1339、1340、1341、1342、1343、1344、1345、1346、1347、1348、1349、1350、1351、1352、1353、1354、1355、1356、1357、1358、1359、1360、1361、1362、1363、1364、1365、1366、1367、1368、1369、1370、1371、1372、1373、1374、1375、1376、1377、1378、1379、1380、1381、1382、1383、1384、1385、1386、1387、1388、1389、1390、1391、1392、1393、1394、1395、1396、1397、1398、1399、1400、1401、1402、1403、1404、1405、1406、1407、1408、1409、1410、1411、1412、1413、1414、1415、1416、1417、1418、1419、1420、1421、1422、1423、1424、1425、1426、1427、1428、1429、1430、1431、1432、1433、1434、1435、1436、1437、1438、1439、1440、1441、1442、1443、1444、1445、1446、1447、1448、1449、1450、1451、1452、1453、1454、1455、1456、1457、1458、1459、1460、1461、1462、1463、1464、1465、1466、1467、1468、1469、1470、1471、1472、1473、1474、1475、1476、1477、1478、1479、1480、1481、1482、1483、1484、1485、1486、1487、1488、1489、1490、1491、1492、1493、1494、1495、1496、1497、1498、1499、1500、1501、1502、1503、1504、1505、1506、1507、1508、1509、1510、1511、1512、1513、1514、1515、1516、1517、1518、1519、1520、1521、1522、1523、1524、1525、1526、1527、1528、1529、1530、1531、1532、1533、1534、1535、1536、1537、1538、1539、1540、1541、1542、1543、1544、1545、1546、1547、1548、1549、1550、1551、1552、1553、1554、1555、1556、1557、1558、1559、1560、1561、1562、1563、1564、1565、1566、1567、1568、1569、1570、1571、1572、1573、1574、1575、1576、1577、1578、1579、1580、1581、1582、1583、1584、1585、1586、1587、1588、1589、1590、1591、1592、1593、1594、1595、1596、1597、1598、1599、1600、1601、1602、1603、1604、1605、1606、1607、1608、1609、1610、1611、1612、1613、1614、1615、1616、1617、1618、1619、1620、1621、1622、1623、1624、1625、1626、1627、1628、1629、1630、1631、1632、1633、1634、1635、1636、1637、1638、1639、1640、1641、1642、1643、1644、1645、1646、1647、1648、1649、1650、1651、1652、1653、1654、1655、1656、1657、1658、1659、1660、1661、1662、1663、1664、1665、1666、1667、1668、1669、1670、1671、1672、1673、1674、1675、1676、1677、1678、1679、1680、1681、1682、1683、1684、1685、1686、1687、1688、1689、1690、1691、1692、1693、1694、1695、1696、1697、1698、1699、1700、1701、1702、1703、1704、1705、1706、1707、1708、1709、1710、1711、1712、1713、1714、1715、1716、1717、1718、1719、1720、1721、1722、1723、1724、1725、1726、1727、1728、1729、1730、1731、1732、1733、1734、1735、1736、1737、1738、1739、1740、1741、1742、1743、1744、1745、1746、1747、1748、1749、1750、1751、1752、1753、1754、1755、1756、1757、1758、1759、1760、1761、1762、1763、1764、1765、1766、1767、1768、1769、1770、1771、1772、1773、1774、1775、1776、1777、1778、1779、1780、1781、1782、1783、1784、1785、1786、1787、1788、1789、1790、1791、1792、1793、1794、1795、1796、1797、1798、1799、1800、1801、1802、1803、1804、1805、1806、1807、1808、1809、1810、1811、1812、1813、1814、1815、1816、1817、1818、1819、1820、1821、1822、1823、1824、1825、1826、1827、1828、1829、1830、1831、1832、1833、1834、1835、1836、1837、1838、1839、1840、1841、1842、1843、1844、1845、1846、1847、1848、1849、1850、1851、1852、1853、1854、1855、1856、1857、1858、1859、1860、1861、1862、1863、1864、1865、1866、1867、1868、1869、1870、1871、1872、1873、1874、1875、1876、1877、1878、1879、1880、1881、1882、1883、1884、1885、1886、1887、1888、1889、1890、1891、1892、1893、1894、1895、1896、1897、1898、1899、1900、1901、1902、1903、1904、1905、1906、1907、1908、1909、1910、1911、1912、1913、1914、1915、1916、1917、1918、1919、1920、1921、1922、1923、1924、1925、1926、1927、1928、1929、1930、1931、1932、1933、1934、1935、1936、1937、1938、1939、1940、1941、1942、1943、1944、1945、1946、1947、1948、1949、1950、1951、1952、1953、1954、1955、1956、1957、1958、1959、1960、1961、1962、1963、1964、1965、1966、1967、1968、1969、1970、1971、1972、1973、1974、1975、1976、1977、1978、1979、1980、1981、1982、1983、1984、1985、1986、1987、1988、1989、1990、1991、1992、1993、1994、1995、1996、1997、1998、1999、2000、2001、2002、2003、2004、2005、2006、2007、2008、2009、2010、2011、2012、2013、2014、2015、2016、2017、2018、2019、2020、2021、2022、2023、2024、2025、2026、2027、2028、2029、2030、2031、2032、2033、2034、2035、2036、2037、2038、2039、2040、2041、2042、2043、2044、2045、2046、2047、2048、2049、2050、2051、2052、2053、2054、2055、2056、2057、2058、2059、2060、2061、2062、2063、2064、2065、2066、2067、2068、2069、2070、2071、2072、2073、2074、2075、2076、2077、2078、2079、2080、2081、2082、2083、2084、2085、2086、2087、2088、2089、2090、2091、2092、2093、2094、2095、2096、2097、2098、2099、2100、2101、2102、2103、2104、2105、2106、2107、2108、2109、2110、2111、2112、2113、2114、2115、2116、2117、2118、2119、2120、2121、2122、2123、2124、2125、2126、2127、2128、2129、2130、2131、2132、2133、2134、2135、2136、2137、2138、2139、2140、2141、2142、2143、2144、2145、2146、2147、2148、2149、2150、2151、2152、2153、2154、2155、2156、2157、2158、2159、2160、2161、2162、2163、2164、2165、2166、2167、2168、2169、2170、2171、2172、2173、2174、2175、2176、2177、2178、2179、2180、2181、2182、2183、2184、2185、2186、2187、2188、2189、2190、2191、2192、2193、2194、2195、2196、2197、2198、2199、2200、2201、2202、2203、2204、2205、2206、2207、2208、2209、2210、2211、2212、2213、2214、2215、2216、2217、2218、2219、2220、2221、2222、2223、2224、2225、2226、2227、2228、2229、2230、2231、2232、2233、2234、2235、2236、2237、2238、2239、2240、2241、2242、2243、2244、2245、2246、2247、2248、2249、2250、2251、2252、2253、2254、2255、2256、2257、2258、2259、2260、2261、2262、2263、2264、2265、2266、2267、2268、2269、2270、2271、2272、2273、2274、2275、2276、2277、2278、2279、2280、2281、2282、2283、2284、2285、2286、2287、2288、2289、2290、2291、2292、2293、2294、2295、2296、2297、2298、2299、2300、2301、2302、2303、2304、2305、2306、2307、2308、2309、2310、2311、2312、2313、2314、2315、2316、2317、2318、2319、2320、2321、2322、2323、2324、2325、2326、2327、2328、2329、2330、2331、2332、2333、2334、2335、2336、2337、2338、2339、2340、2341、2342、2343、2344、2345、2346、2347、2348、2349、2350、2351、2352、2353、2354、2355、2356、2357、2358、2359、2360、2361、2362、2363、2364、2365、2366、2367、2368、2369、2370、2371、2372、2373、2374、2375、2376、2377、2378、2379、2380、2381、2382、2383、2384、2385、2386、2387、2388、2389、2390、2391、2392、2393、2394、2395、2396、2397、2398、2399、2400、2401、2402、2403、2404、2405、2406、2407、2408、2409、2410、2411、2412、2413、2414、2415、2416、2417、2418、2419、2420、2421、2422、2423、2424、2		

◆ 特集・実践 義務教育段階の取組 ◆

(2) 指導の流れ（概略）

	生徒の活動	教師の役割・支援
A 事前指導	・ 家族や先輩の仕事やその様子について発表し合う ・ 「働くってどういうこと？」 ・ 「働くために必要なこと」ワークシートに取り組む ・ 個人目標を書く ・ 挨拶の準備	・ 家庭で保護者の仕事について聞いてきたかを尋ねる ・ 先輩達はどうしているか話す ・ 発表交流他の考えをよく聞くよう導く ・ 前年度の写真を見せ、具体的に考えるよう導く
B 当日 (職場体験)	○ 導入 ・ 玄関で全員に挨拶する ・ 「長沼中学校から職場実習にきました」と窓口に出る ・ 代表の方に挨拶する ・ 担当の方に自己紹介する ○ 展開 ・ 仕事の説明をよく聞き返事する ・ 分からないことは聞く ・ 丁寧に行う ・ 少しずつ作業を速くしていく ○ まとめ ・ お礼の挨拶、感想を言う	・ 会う人たちに大きな声で挨拶しよう「おはようございます」「・・・（名前）です。」「よろしく願いいたします」と促す ・ 生徒が理解しているかを確認する ・ 一緒に作業しながら間違いがないか確認する ・ 職場の方へのお礼を促す ・ 職場の方からの評価を依頼する
C 事後指導	・ 「働いてみてどうだった？」ワークシートに取り組む	・ 本人の評価を聞き取る ・ 職場の方の評価について、本人と話し合う

(3) 評価

- ・ 遅刻をしなかったか
- ・ 挨拶や返事ができたか
- ・ 説明をよく聞き、必要なことは質問できたか
- ・ 集中して仕事をしたか
- ・ 相手に伝わる声の大きさだったか
- ・ 片付けを進んで行ったか

(4) 職場体験の実習場所について

① 総合保健福祉センター「りふれ」での実習

この施設には、保育士や子ども発達支援センターの指導員が勤務しており、出生時や就学前からの相談機能的な役割を果たしています。また、特別支援学級の生徒が希望する学科の特徴を考えると、高等支援学校に新たな専門教科として新設されている「福祉」分野の希望が多く、生徒自身が就労後、一生の相談窓口となる施設です。



図5 健康診断キット詰めの様子

《職場体験・実習内容》

- ・ 介護関係：通知文三つ折りと封詰め、福祉行事のしおりと要綱の帳合
- ・ 保健関係：健康診断キット詰め

※生徒は同じ作業を同じ場所で体験、状況に応じて能力別の流れ作業になる場合あり。

② 長沼町社会福祉法人「長沼陽風会」での実習

この施設は、比較的重い障がいのある方から軽い障がいのある方まで、幅広く受け入れて

◆ 特集・実践 義務教育段階の取組 ◆

いる障害者支援施設です。長沼町内の「長沼陽風会」は、南長沼に本館があり、平成24年に市街地にパン工房を開業し、平成26年にはクリーニング店を店主から引き継ぐ形で開店するなど活動の場を広げています。



図6 「長沼陽風会」での実習の様子

《職場体験・実習内容》

- ・玉葱と人参の一次加工、ナッツの計量、紙袋の袋詰め、クリーニング作業
- ※生徒は別々の作業場所に分かれて活動、状況に応じて変更もあり。

7 他校種との交流及び共同学習（地域連携）

本校では、長沼から南幌養護学校に通っている生徒との交流及び共同学習を行っています。毎年、南幌養護学校の居住地校交流担当コーディネーターや町内小学校特別支援学級担当者等との連携により、町内特別支援学級合同行事、町内施設見学、学校での合同調理実習、学校祭での野菜・作業作品販売などの体験活動を企画・運営しています。

地域の作業所で職場体験をすることや異校種の児童生徒と交流することは、本校の生徒はもちろん、南幌養護学校中学部の生徒にとっても、社会参加する喜びや地域の一員として、地域を大切に思う気持ちを育て、地域の方々にも理解、協力を得る機会として大切なものととらえています。

8 成果と課題

本校で実施している特別支援学級を基軸にした「職場体験」「異校種間交流」は、生徒にとって日常生活指導や作業学習が将来どのように役立つのかという発見や自覚があり、日頃の学習に対する姿勢や意欲の改善につながりました。また、体験の中で「商品を落とさないようにしよう」「帳合いで指の跡をつけないように紙に触ろう」「自分が先輩であり、経験者だから頑張ろう」「緊張せずに何とか頑張ろう」等、自分の仕事が人の手元に渡ること、商品になって業者や店頭へ運ばれることを意識して働いているということを実感できたものと考えています。

私たち指導者は、生徒を理解しようと目先の事に追われがちですが、毎年職場実習を行うことにより、生徒が日頃は見せない力を社会の一員として発揮する姿を見ることができ、生徒が将来どのように大人になっていくだろうかと考える機会を得ることができます。

今後は、生徒が地域の中でたくましく生きるために、小学校から中学校、そして高等学校や特別支援学校へ、途切れずに発達に応じて学び、この「学ぶこと 生きること 働くこと」についての学習を小学校段階から意識的・継続的に交流していくことが課題と考えています。

9 おわりに

どの生徒も、遅かれ早かれ、社会の一員として課題にぶつかり乗り越えなければならない日が来ます。AKB48に入りたい夢やお好み焼き屋さんになりたい夢を諦めなくても、それをきっかけに今現在できることを精一杯考えていけばよいと思います。職場体験や進路を考える様々な自己分析から、生徒は自然と優先順位を考え、自分の在り方、生き方を選択していくと感じました。

今後も、これからの生き方について生徒たちが考え合う学習の場を大切にして、将来生徒が直面するであろう様々な課題に柔軟にたくましく対応し、自立していくことができる力を育んでいきたいと考えます。

研究紀要ダイジェスト

研究紀要
第27号

平成25年度 文部科学省 発達障害に関する教職員の専門性向上事業「発達障害理解推進拠点事業」

「発達障害のある心理的な支援が必要な 児童生徒の理解と指導・支援の在り方に関する研究」

本研究では、「心理的な支援が必要な児童生徒」を、「児童虐待をはじめとした、養育上の問題を抱え、心理的ケア等が必要な児童生徒」と定義しました。

キーワード：発達障害、心理的な支援、自尊感情・自己肯定感、安全・安心感、信頼感、ほめる・認める肯定的な評価

研究の趣旨

道内の情緒障害児短期治療施設や児童自立支援施設に併設する学校には、発達障害のある心理的な支援が必要な児童生徒が多く在籍しています。各学校においては、児童生徒の学習上及び行動上の課題や心理的な不安定さへの対応に苦慮しながらも、様々な工夫を取り入れた指導を行っています。

そこで、本研究では、このような児童生徒が心理的に安定し、自信や意欲をもって学習活動に取り組むことができる教育的対応の充実を図るため、児童生徒一人一人の実態把握を行い、自尊感情・自己肯定感を高める指導・支援の在り方を検討しました。

研究の方向性

発達障害のある心理的な支援が必要な児童生徒の自尊感情・自己肯定感を高める指導・支援の在り方について明らかにすることを目的として研究を進めました。

研究の内容

- 「発達障害のある心理的な支援が必要な児童生徒理解のためのアセスメントシート（試案）」の作成。
- 発達障害のある心理的な支援が必要な児童生徒の自尊感情・自己肯定感を高める教育的対応の視点の明示と指導・支援の検討。
- 指導・支援の充実を図る教員の支援体制の検討。

研究の成果

- 1 発達障害の特性や心理的な状態から、児童生徒の全体的な特徴を把握しました。また、「発達障害のある心理的な支援が必要な児童生徒理解のためのアセスメントシート（試案）」を作成しました。（右表）
- 2 「安全・安心感、信頼感を育むかわり」と「肯定的な評価の積極的活用」を教育的対応の視点として整理し、事例を示しました。（研究紀要 p. 29～35）
- 3 教員の取組を支える体制づくりについて実践例を示しながら整理しました。（研究紀要 p. 36～42）

「発達障害のある心理的な支援が必要な児童生徒理解のためのアセスメントシート（試案）」（一部抜粋）

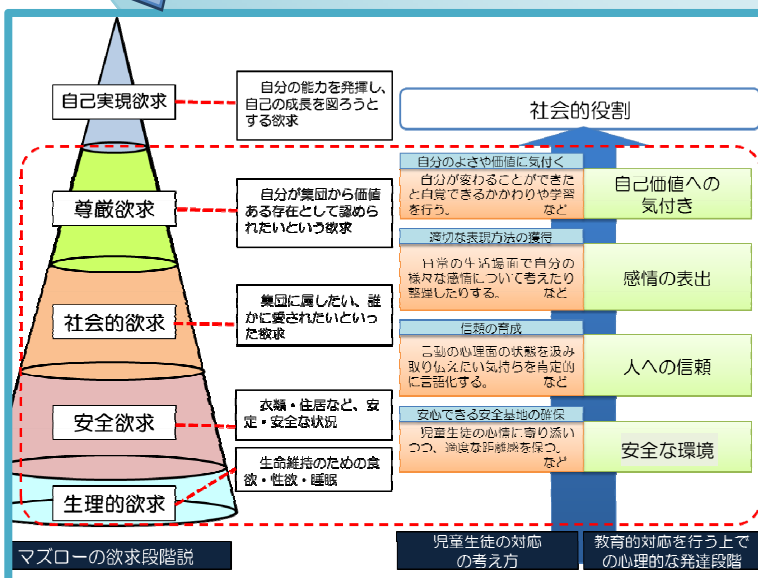
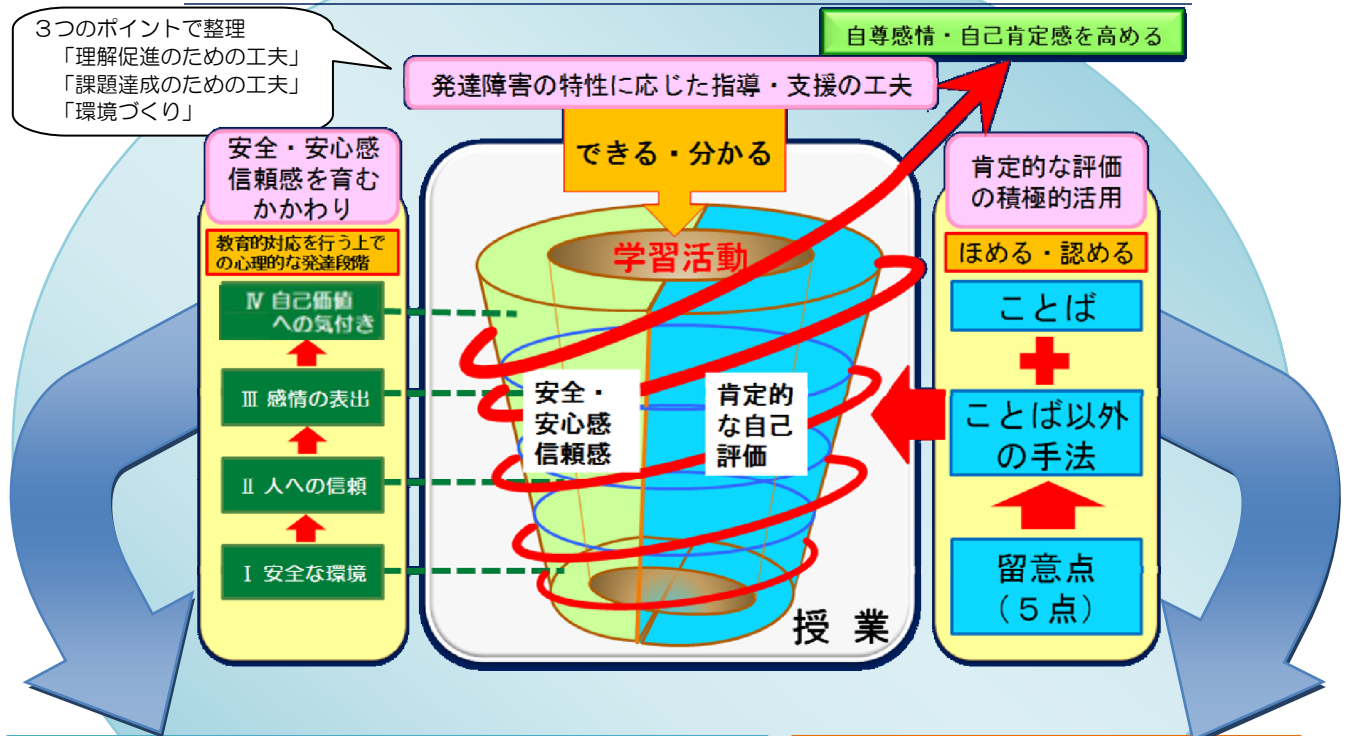
項 目	
学 習	授業や活動中
	途中で口をは
運 動	道具（はさみ
	ボール運動や
コミュニケーション	適切な距離感
	攻撃的・否定
対人関係	できる・分か
	場の雰囲気や
心理的な不安定	相手の気持ち
	困っているこ
意 欲・自 信	心理的に緊張
	安定している。
	大人や友達を
	指示や注意を
	ルする。
	初めてのことや慣れていないことにも柔軟に対応する。
	肯定的な評価（ほめられる、認められる）を喜ぶ。
	肯定的な評価（ほめられる、認められる）により、次の学習意欲につなげる。
	自らの存在を否定せず、前向きな気持ちで生活する。
	新しいことや少し難しい課題にも積極的に挑戦する。

児童生徒の学習面・行動面・心理面の状態を明らかにし、効果的な指導・支援につなげるために、6カテゴリー47項目のアセスメントシートを作成しました。

調査用のアセスメントシートでは、発達障害のない児童生徒に比べ、発達障害のある児童生徒の方が全ての項目で低い数値を示しました。
また、各項目では、「肯定的な評価（ほめられる、認められる）により、次の学習意欲につなげる。」などが高い数値を、「攻撃的・否定的にならず、自分の気持ちを伝えられる。」項目などが低い数値を示しました。

**自尊感情・自己肯定感を
高めることが必要**

自尊感情・自己肯定感を高めるためのイメージ図



主 要 素	「ほめる・認める」
目標達成・課題進行 (できたことへの賞賛や感謝)	☐ 「すごい！」 ☐ 「さすが！」 ☐ 「偉い！」 ☐ 「できたね！」 ☐ 「えらい！」 ☐ 「がんばった！」 ☐ 「感動した！」 ☐ 「よかった！」 ☐ 「いい(考え)だね！」 ☐ 「よくやった！」 ☐ 「おっ！(感動)」 ☐ 「すごい！」 ☐ 「おっ！(感動)」 ☐ 「すごい！」 ☐ 「すごい！」
努力承認・励まし (努力過程や努力)	☐ 「君ならできる」 ☐ 「頑張っているね」 ☐ 「すごい！」 ☐ 「いいよ」 ☐ 「なるほど」 ☐ 「すごい！」 ☐ 「応援しているよ」 ☐ 「必ずできるよ」 ☐ 「すごい！」 ☐ 「○○したら、絶対いいね(褒め)」 ☐ 「本当は○○」
成長や褒め	☐ 「成長したね」 ☐ 「変わったね」 ☐ 「すごい！」 ☐ 「姿勢がよいね」 ☐ 「やさしくなったね」 ☐ 「すごい！」 ☐ 「立派になったね」 ☐ 「上手になったね」 ☐ 「すごい！」
具体的な活動	☐ 「(大きな声)がよかったよ」 ☐ 「すごい！」 ☐ 「(字)がうまいね。」 ☐ 「すごい！」 ☐ 「(生き物)にやさしいね」 ☐ 「すごい！」 ☐ 「(背筋が伸び)ていい(姿勢)だね」 ☐ 「すごい！」
信頼や感謝	☐ 「ありがとう」 ☐ 「信用している」 ☐ 「安心してまわしてもらえるよ」 ☐ 「助かったよ」 ☐ 「任せよう」 ☐ 「みんな感謝し」 ☐ 「○○さんならできると思っていたよ」
存在を承認	☐ 「○○さん、おはよう(呼名して挨拶)」 ☐ 「すごい！」 ☐ 「今日も覚えてうれしいよ」 ☐ 「すごい！」 ☐ 「(掃除)してくれたの○○さんでしょう」 ☐ 「すごい！」 ☐ 「○○さんがしてくれたから気持ちいいよね」 ☐ 「すごい！」

研究に御協力いただいた学校と施設

学校名	施設名	
・北広島市立西の里小学校陽香分校	北海道立	
・北広島市立西の里中学校陽香分校	向陽学院	
・七飯町立大沼小学校鈴蘭谷分校	北海道立	児童自立支援施設
・七飯町立大沼中学校鈴蘭谷分校	大沼学園	
・遠軽町立東小学校望の岡分校	(社会福祉法人)	
・遠軽町立遠軽中学校望の岡分校	北海道家庭学校	
・伊達市立星の丘小学校	(社会福祉法人)バウムハウス	情緒障害児短期治療施設
・伊達市立星の丘中学校		

【研究紀要はこちらからダウンロードできます】

http://www.tokuen.hokkaido-c.ed.jp/?action=cabinet_action_main_download&block_id=209&room_id=1&cabinet_id=4&file_id=514&upload_id=1159

主 要 素	「ほめる・認める」
表情	☐ にっこり笑って ☐ 驚いた表情で ☐ うなずいて
声量	☐ 大きい声で ☐ 通常の声で ☐ 小さい声
アイコンタクト	☐ 目で合図 ☐ 視線を合わせて ☐ 目を大きく
動作	☐ 握手や拍手 ☐ 指でOK・O(丸)のサイン ☐ O(丸)のサイン
教材・教具	☐ 連絡帳、メモの活用 ☐ 絵やグラフの使用 ☐ 指差し ☐ メダル ☐ 賞状 ☐ ペーパーサポート ☐ カード ☐ 写真やビデオの活用
人的環境	☐ 個別に ☐ 小集団の中で ☐ O(丸)のサイン ☐ 担任による評価 ☐ 担任以外の身近な先生 ☐ O(丸)のサイン ☐ 児童生徒間による評価 ☐ 外部の人からの評価 ☐ O(丸)のサイン
タイミング	☐ その場ですぐに ☐ 授業中が切れる前に ☐ O(丸)のサイン ☐ 授業の終わりに ☐ やり始めたときに「や」 ☐ O(丸)のサイン ☐ 課題の途中に「頑張っているね」

肯定的な評価を行う上での留意

個々の特性を考慮

適切な機会をとらえた評価

共感的な気持ちでこめて評価

評価員

北海道立特別支援教育センターからのお知らせ

冬季講座と公開講義のご案内

冬季講座

今年度は、12月25日、1月6日・7日・8日、1月15日に開催します。

一日又は半日を通して受講していただくコース制となっています。それぞれのコース内容と対象は、下記の通りです。11月10日（月）から12月5日（金）までの期間に、当センターへ直接FAX又は電子メールで申込用紙を送信、もしくはWebページ上の申込フォームからお申込みください。

受講の可否については受講希望者あてにFAXで通知します。

なお、詳しい日程につきましては平成26年度事業案内のP28～29をご覧ください。（当センターWebページにも掲載しています。）

	コース名		対象（定員）	コース内容
12月25日 （木） 9:00 ～16:00	心理検査充実コースⅢ		学校の教員 （20名）	WISC-Ⅳ知能検査の基礎的な理解について研修します。
	心理検査充実コースⅣ		学校の教員 （20名）	心理・教育アセスメントバッテリーKABC-Ⅱの基礎的な理解について研修します。
1月6日 （火） 10:30 ～16:00	授業づくり充実コース 16:20 からトワイライト 研修が行われます。 （特セン研究成果報告）		幼稚園、小・中 学校教職員、高 等学校教職員、 特別支援学校 教職員 （20名）	幼児児童生徒の主体性を引き出す授業を構 築するための、個別の指導計画や学習指導案 の作成のポイント、実態把握に基づいた授業 づくりなどについて研修します。
1月7日 （水） 9:00 ～16:00	特別支援学校 充実コース 16:20 からト ワイライト研 修が行われま す。 （特セン研究 成果報告）	視覚障害	特別支援学校 教員（20名）	視覚障害における病理と生理、触察指導の 実際、弱視レンズ、視覚認知指導の実際等 について研修します。
1月8日 （木） 9:00 ～16:00		聴覚障害	特別支援学校 教員（20名）	手話を活用した指導、聴覚を活用した指導、 聾学校における指導の在り方等について研修 します。
		知的障害	特別支援学校 教員（20名）	知的障害教育における分かりやすい学習指 導案の作成や各教科等を合わせた指導の実際 等について研修します。
		肢体不自由	特別支援学校 教員（20名）	身体の動きに関する実際把握や教科指導の 実際、ICTの活用による授業改善等につい て研修します

	コース名	対象（定員）	内 容
1月15日 （木） 9:00 ～12:00	キャリア教育充実コース	幼稚園、小・中学校教職員、高等学校教職員、特別支援学校教職員 （20名）	キャリア教育の視点を基にした教育課程の編成－実施－評価の充実や、障害のある生徒の就労状況及び産業の動向を踏まえた福祉と労働等の連携について理解し、生徒の希望や適性に応じた就労支援について研修します。

公開講義

研修講座で開催される基調講義や講義の一部を公開しています。講義ごとに受講することが可能です。「公開講義受講申込書」（当センターWebページからダウンロードできます。）に必要事項をご記入の上、当センターに直接FAX又は電子メールで送信、もしくはWebページ上からお申込みください。受講できない場合のみ連絡します。

講義番号	日 時	公開講義名（定員）	講 師
A20	1月6日（火） 13:00～16:00	幼児児童生徒の長所を活用した授業づくりと指導（25名）	北海道教育大学函館校 准教授 細 谷 一 博
A21	1月7日（水） 9:00～10:20	評価に基づく授業改善（45名）	センター所員
A22	1月7日（水） 10:40～12:00	【選択講義】 障害のある幼児児童生徒の学習指導の実 際 ① 各教科の指導部会 ② 各教科等を合わせた指導部会 ③ 自立活動の指導部会 （部会ごとに定員を設定） ※ 申し込みの際、各部会のどれか1つを選んでください。	教 員
A23	1月14日（水） 14:00～17:00	一人一人のキャリア発達とその意義 （65名） ※ 道民カレッジと連携した講義	筑波大学 名誉教授 渡 辺 三枝子
A24	1月16日（木） 9:00～10:30	特別支援学校におけるキャリア教育の実 際（65名）	教 員

編集後記

今年度の「特別支援教育ほっかいどう」は、特別な教育的ニーズのある子どもの就学前から卒業後までを通じて社会参加・貢献に向けた効果的な取組という観点から、各学校や地域の取組を紹介いたしました。

今回寄せられた、幼児期における多様な学びの場の構築、町が一体となった特別支援教育の取組、中学校における職場体験の実践から、早期からの一貫した将来の社会自立・貢献を見据えた実践や共生社会の形成を目指した特別支援教育の取組の重要性について、確認することができました。

「特別支援教育ほっかいどう」20号は、3期に分けて発行する予定です。今後も各学校や地域において、特別な教育的ニーズのある子どもたちの社会自立・貢献に向け、特別支援教育に取り組んでいる実践などを紹介していきます。その取組を参考にいただき、読者の皆さんの教育実践の一助となれば幸いです。

最後になりましたが、玉稿をいただきました皆様に厚くお礼申し上げます。

お知らせ

当センターでは、メールマガジンを定期的に発行しております。御希望される方は、当センターWebページから登録いただきますようお願いいたします。

特別支援教育ほっかいどう20号(1)

発行：平成26年10月

編集：北海道立特別支援教育センター

〒064-0944 北海道札幌市中央区円山西町2丁目1番1号

電話 011-612-6211（代表） F A X 011-612-6213

E-mail tokucen@hokkaido-c.ed.jp

URL <http://www.tokucen.hokkaido-c.ed.jp/>

発行者：北海道立特別支援教育センター 所長 木村 宣孝